

地域社会の先導役に

少子化時代に

挑む

少子化時代の到来で県内の大学・短大が生き残りの大改革を迫られている。志願者が定員を下回るという事態に、各学園は一層の個性化と差異化の戦略を必死に採っている。入学シーズンを前に、主要5大学・短大のトップに「全入時代」の学園像と経営戦略を筆刀直入に聞いた。

(聞き手は村田勝重・西日本新聞社佐賀総局長)

佐賀大学 長谷川 照学長

環境と歴史の研究が核



はせがわ・あきら 千葉市出身。1963年、早大理工学部を卒業、68年に京大大学院理学研究科博士課程を修了し、同年春に佐賀大理工学部助手。同学部教授、学部長を経て2003年10月から学長。04年4月の法人化後も学長選で選ばれ、現在2期目。専門は原子核理論。67歳。

■真実導き出す力を

「独立法人化、少子化の大学像は見えてこない」と思っている。個性ある大学しかう。

長谷川 僕は、今の若い人たちに大きな期待をかけ、報があふれ、何が真実かを導き出す能力が失われてき

■学部の垣根はすす

「改革元年」と位置付けている。改革の中身は、

長谷川 課題としては、学生の就職状況だ。就職率は90%以上だが、就職先を見るとき、学んだことを生かす職場に入っているとは到底思えない。

■文理融合の成果も

「改革元年」と位置付けている。改革の中身は、

長谷川 世界はどこへ行くのかも、重要なのは環境問題だ。環境問題の解決に力を注がなければ、今後、人間の暮らしは立ちゆかなくな

たからだ。言うならば、さも、現実には多くの学生はまざまざと目撃している。教員になっていないし、理系就職先はほとんどが情

長谷川 始めてまだ一年だが、一年目の成果としてプロジェクトの責任者が選んだ論文の一つは、文系分野だった。リ生産者は協業体」を作り、生活できる環境を整えようという異変の原因を探る」とのプロジェクトを示したもので優れた研究

元するための「草の根産学連携」だ。職員が県内を走り回って運営している。

民と学の連携については、四月に「地域学歴史文化研究センター」を開校する。小坂鍋島文庫をはじめとする佐賀の古文書を研究し、歴史的価値を整理することで、町づくりの結び付きを生み出せる。佐賀大に入学者は県内から三割で、卒業後は大半が県外に出て行く。研究により地域の宝に光を当てることで、地域づくりをあらゆる学生が育つてくれればと願っている。

「学部長は二期目の今年をい。」「学部」の弊害が目につく。今、学部は、大量の情報のおかげで知識の断片を教えようと考えてはほろろい。」「学生が社会に出た後に、何をさせるのかを見据え学部の垣根をはずし、大いに働く若者をつくる組織に変えなければならぬ」

長谷川 始めてまだ一年だが、一年目の成果としてプロジェクトの責任者が選んだ論文の一つは、文系分野だった。リ生産者は協業体」を作り、生活できる環境を整えようという異変の原因を探る」とのプロジェクトを示したもので優れた研究

の技量次第との見方もある。地域社会の期待にどう応えるのか。

長谷川 私はこれまでの産学連携は失敗したと思っ

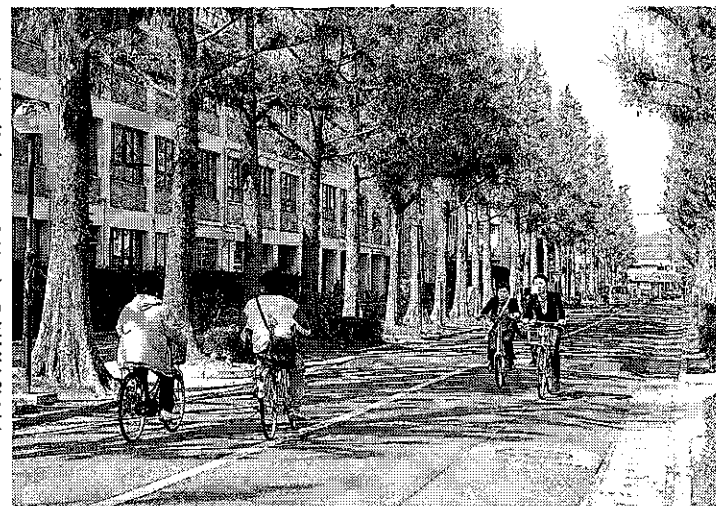
地域が元気がどうかは、地元大学の地域への向き合い方が担う部分が大い。長谷川学長は大学の針路を「地域社会のリード役」とし、環境と歴史文化研究の二つのテーマのさらなる深化を強調した。地域と大学がそれぞれの力を循環させ、双方がさらにパワーアップする戦略だ。佐賀大改革の成否は、佐賀県再生の命綱でもある。(村田)

県内5大学・短大トップインタビュー

5学部備えた学びの拠点

文化教育学部、経済学部、理工学部、農学部、医学部の計5学部、大学院は六つの研究科がある。海洋温度差発電やシンクロトロン光応用研究など独自の研究として知られる。二〇〇五年度から五年計画で立ち上げた「有明海総合研究プロジェクト」

文化教育学部の学校教育課程は、旧佐賀師範学



落羽松の並木が学生を歓迎する佐賀大学の本庄キャンパス

佐賀大学の沿革

- 1949 旧佐賀高校、旧佐賀師範学校、旧佐賀青年師範学校を包括し、文理学部と教育学部の2学部を持つ新制大学として発足
- 1955 農学部を設置
- 1966 文理学部を改組し経済学部、理工学部、教養部を設置
- 1972 文理学部を廃止
- 1974 佐賀大学内に「国立医学教育機関創設準備室」を設置。佐賀医科大学が開学
- 1980 海洋温度差発電実験施設（現在の海洋エネルギー研究センター）を設置。佐賀医科大学付属病院の外来棟や西病棟が完成
- 1981 佐賀医科大学に付属病院を設置
- 1982 付属病院の東病棟完成
- 1989 佐賀大学付属図書館新館完成
- 1991 低平地防災研究センター（現・低平地研究センター）設置
- 1993 佐賀医科大学に医学部看護学科を設置
- 1996 教養部廃止。教育学部を文化教育学部に
- 1998 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー設置
- 2000 留学生センター設置
- 2001 シンクロトロン光応用研究センター設置
- 2003 佐賀大学と佐賀医科大学が統合
- 2004 国立大学法人化
- 2005 技術移転機構（TLO）を設置

次回は3月2日
西九州大学の
高田弘学長が
登場します。